

帽子やバンダナ、付け毛の活用

かつら以外にも帽子やスカーフ・バンダナを上手に活用して過ごしましょう。また、帽子やバンダナにつける「付け毛」もあります。

帽子

帽子だけでも脱毛はカバーできます。深くかぶれるものやつばの広いものを選ぶと、髪がないことがわかりにくく自然に見えます。

脱毛の時期は、痛みやかゆみが出て頭皮がデリケートになっているので、やわらかくて肌にやさしい素材のものが良いでしょう。

かつらと併せて利用したり、季節やベッドの中、外出用など利用状況に合わせて利用すると良いでしょう。

なお、髪の毛がある時とない時ではサイズが異なるので注意が必要です。



< UV ハット >

UV カットの素材は、治療で敏感になっている肌を紫外線から守ってくれます。



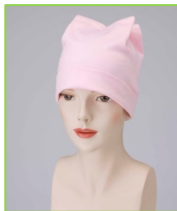
< 男性用帽子 >

自分に似合う帽子を探してみましょう。



< フィットキャップ >

結び目がないものはそのままベッドに寝ても痛くありません。また、抜けた髪が飛び散るのを防いでくれます。



バリエーションが豊富なフィットキャップを利用してみましょう。

スカーフやバンダナ

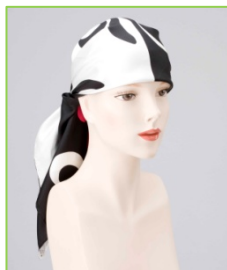
スカーフやバンダナを頭に巻いても脱毛をカバーできます。

三角形に折って後ろで結ぶ場合は、後頭部が全部隠れるくらいの大きさのものをしましょう。

まゆ毛のところまで深くかぶるとまゆ毛や前髪の脱毛もカバーできます。また、巻き方をアレンジして楽しむのも良いでしょう。

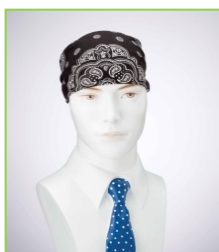
男性の場合は、タオルを巻く人もいます。

スカーフやバンダナは毛髪がないとはずれやすいので、フィット感がなくなってきたら調整するようにしましょう。



< スカーフ >

いろいろな巻き方をアレンジしてみましょう。



< バンダナ >

大きめのものを選び、深くおおいましょう。
付け毛などをつけて使うのも良いでしょう。

< タオル >

男性の場合、タオルを巻いても良いでしょう。

付け毛

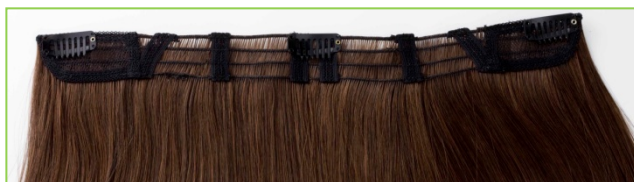
髪の毛が全部抜けてしまった時は、帽子やバンダナに「付け毛」をつけてみましょう。少しでも髪が出ているだけで、自然な感じに見えます。

かつらよりも安価で、長さやカラーなど種類も豊富です。

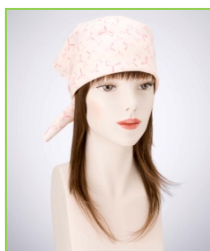
取り付け方はさまざまですが、比較的簡単につけられるようになっています。



ヘアスタイルの種類が豊富です。



裏に止め具が付いているものもあります。



帽子やバンダナに付け毛をつけるだけでも自然な感じに見えます。